

令和3年度自己評価公表シート

令和4年3月31日
学校法人 玄海学園
貝塚幼稚園
園長 庄司 誠

1、本園の教育目標

○総目標 ひかりのこども

○教育目標

- ①心身共に健やかなで明るくのびのびした子ども
- ②友達と仲良く遊べる子ども
- ③情操豊かで素直な子ども
- ④よく考え根気強く最後までがんばる子ども
- ⑤ありがとう、ごめんなさいが言える子ども

○教育方針

強く・正しく・やさしく・愛らしく・やる気・元気・根気を育てる教育

以上の教育目標を掲げ、幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し思考する過程を大切に教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と充分にかかわって展開する生活がなされるように配慮し、逞しくそしてしなやかな心と体を持った21世紀の日本を支える人間力を身に着けた子どもを育てていく。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

課 題	具体的に取り組むべき内容
五感に働きかけた保育の充実	11年間にわたるアイランドシティへの園外保育から得られた成果を踏まえ、また子ども環境管理士である平島（旧森田）先生との連携を生かし、今後も継続し幼児が自然とのかかわりを深めることができるよう更なる工夫・検討・実施を行い保育の質向上に努めていく。
食育への取組	12年間の食育活動の成果を踏まえ、PDCAサイクルを通じた質の向上を行っていく。コロナ禍における保護者の方々に対する食育活動の機会「まあまあずルーム」の開催方法を検討・実施する。またNPO法人食育推進ネットワークとの連携を通して、本園「食育」の更なる社会的周知を実現していく。
CSR 事業部門からの園ブランディング化	沢山の資格や能力を持った教員の外部派遣を通して園の更なるブランディング化を図っていく。
保育研究の実施	コロナ禍ではあるが、機会があれば教職員の研鑽を高めるために保育学会へのさん及び発表を積極的に考えていきたい。また全日本私立幼稚園連合会主催の研究大会への教諭参加を含め、福岡市私立幼稚園連盟主催「教育課程」への研修参加を複数名出していきたい。
教育の充実を図る	引き続き沢山の個性を持った子どもたちに対応するためにフリー教諭の人数を充実させインクルーシブ保育の実践を行うことにより、きめ細かい対応を行っていく
園環境の整備	コロナ禍における保護者への発信・教諭リモートワークへの対応・IT化されたデータの安全管理など、IT環境整備を行う必要がある。コロナ対応のための教職員の負担軽減のための備品整備を考える。
園業務の効率化	教員の増員を行うことにより、マンパワーの有効活用も含め、園業務の変革、効率化を図り、労働時間の短縮実現を本年度も課題とする。
カリキュラムマネジメントの見直し	新幼稚園教育要領に沿い、カリキュラムの再編成を行い充実した保育実施を行い「子どもの主体の保育」を定着させる。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
五感に働きかけた保育の充実	<p>アイランドシティへの園外保育の実施も12年目を迎え、コロナ禍の中公園が閉鎖されるなど難しい期間もありましたが、コロナの状況を検討し保育計画の見直しを行うことより年長11回、年中11回、年少11回とほぼ毎月1回程度の回数で実施することができ、その時期その時期の植物、草花、生き物に触れ、五感をフルに使うことで自然環境に親しみ、沢山の感動体験を行って参りました。毎回違う表情を見せる自然に対して好奇心を掻かれ心も体も解放され、主体的に外界に関わっていく姿、野を駆け回ったり、芝を転げ回ったりする姿は解放感に満ち溢れ子どもたちはとてもいい表情をしていた。また、池の中を散策し沢山の生き物と触れ合う機会を通し、命の大切さ尊さを大いに感じていた。このような活動計画を入れることで環境を生かした保育の質向上が図れた。特に本年度も年長組や年中組のみならず年少組さんにも生き物図鑑を準備したおかげで、生き物を調べたり、関心を寄せたり、園に生き物を連れて帰り、教師と一緒に育てていくなど生き物に対する知識も増え命の大切さをより鮮明に体験したと思う。</p>
食育への取組	<p>12年間の食育活動の成果と共に、クラス担任との情報共有の時間を設け、新たな指導計画の見直し作成を行った。コロナ禍の中調理体験は簡単な活動しか行うことが出来なかったがフードコーチングスーパーバイザー大友先生の産休復帰により5歳、4歳、3歳の発達段階に合わせた食育活動を実施する事ができた。本年度もPDCAサイクルによる保育の質向上を図ったおかげで年度末の保護者アンケートから目に見える成果をあげることができた。食育担当教諭の「食育ブログ」を通して保護者への発信、地域の方々への発信により当園の取組に対する理解も深めることができたと思う。本年度はコロナ禍における保護者に対する食育活動の機会「まあまあずルーム」の開催方法の検討・実施を掲げ、動画配信を複数回行うことによって昨年度よりは一步前進することができた。NPO法人食育推進ネットワークとの連携に関しては、同法人から得られた「食」に関する情報をもとに「食」をテーマとした映画観覧を行うことで「食の安全」に関する知識を深めることが出来た。</p>
CSR事業部門からの園のブランディング化	<p>フードコーチングスーパーバイザー大友先生に対する柳川市保育協会からの講演依頼を受け、準備を進めてきていたが、コロナ感染症の波により延期されたが、大いに当園の食に対するブランディングは履かれたのではないかとと思われる。</p>
保育研究の実施	<p>コロナ禍の中での遠方への研修会参加は、今年度は難しく目立った研修会への参加は実現できなかったが、福岡市私立幼稚園連盟主催の「教育課程研究会」に2名の教諭を参加させることで、参加教諭の保育に対する質の向上は大いに図れたのではないかと感じている。</p>
教育環境の充実を図る	<p>本年度もフリー教諭を充実させたことにより沢山の個性を持った子どもたちに対応したインクルーシブ保育の実践、きめ細かな配慮ができたのではないかと実感している。それぞれの個性を大切に保育を行うことで子どもたち一人一人が充実した表情で過ごしている姿を見てとても嬉しく感じている。</p>
園舎環境の整備	<p>前年度コロナ禍で感じたことを現実的に改善していくためにICT化を進め、コロナ禍での参観や行事をリモートで配信できる仕組みを構築し、園への訪問ができにくい中、子どもたちの様子を保護者、更にはご親族にまでお伝え出来たことは大きな成果だったと思う。また、教職員に1台ずつ新しいパソコンを配置することによりリモートワークでの対応も完成させコロナ禍にあっても支障なく業務が行える環境が整えられた。</p>
園業務の効率化	<p>教員を増員させ、バンパワーを有効活用したおかげで、園業務の効率化を図り、前年度よりも労働時間の短縮実現は図れたのではないかと感じている。</p>
カリキュラム・マネジメントの見直し	<p>本年度はカリキュラム編成リーダーを配置したことにより、新年度に入りすぐに令和3年度のカリキュラムを再編成が行われ、より「子ども主体の保育計画」作成が図れたと思う。そのことにより「子ども主体の保育」がずいぶん定着してきたと感じている。</p>

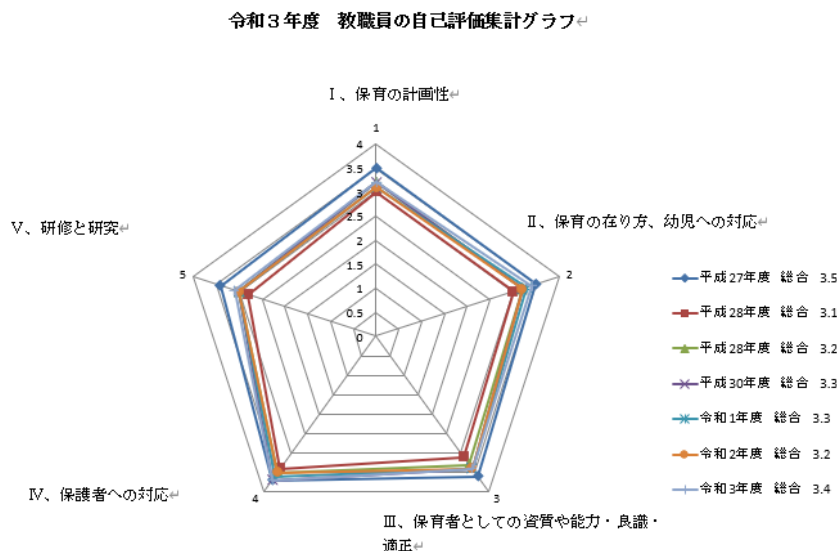
4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、4月当初に園長作成の平成31年度（令和元年度）事業方針「Let's make the future together」を全職員で確認、職員全員に本年度取り組むべき課題や方向性を示し取り組んできた。職員一人ひとりの自己評価も踏まえ取組状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを具体的に実践する礎とすることができた。

5、今後の取り組むべき課題

課題	具体に取り組むべき内容
五感に働きかけた保育の充実	12年間にわたるアイランドシティへの園外保育から得られた成果を踏まえ、今後も継続、幼児が自然とのかかわりを深めることができるよう更なる工夫・検討・実施を行い保育の質向上に努めていく。
食育への取組	12年間の食育活動の成果を踏まえ、PDCAサイクルを通じた質の向上を行っていく。リモートシステムを更に活用した「まあまあずルーム」の更なる新たな展開を実現する。またNPO法人食育推進ネットワークとの連携を通して、本園「食育」の更なる社会的周知を実現していく。
CSR事業部門からのエンブレディング化	沢山の資格や能力を持った教員の外部派遣を通して園の更なるブランディング化を図っていく。
保育研究の実施	今後の新型コロナウイルス感染症の動向にも注視しながら、機会があれば教職員の研鑽を高めるための研修会参加、発表を考えていきたい。また来年度以降も福岡市私立幼稚園連盟主催「教育課程研究会」への教師派遣を行っていく。
教育環境の充実を図る	昨年度よりのICT化の促進を更に加速、充実させるためにそれに伴う備品の整備を行い、ドキュメンテーション等を通して子どもたちの保護者に対する「保育の見える化」を進める必要がある。
園環境の整備	故障等のある備品の整備を進めていく。 コロナ禍における密閉された通園バス空間の改善及びガソリン価格高騰の対策を考えた整備を行う必要がある。
園業務の効率化	教員の増員を行うことにより、マンパワーの有効活用、ICT化の充実も含め、園業務のさらなる変革、効率化を図り、労働時間の短縮実現を更に進めていく。
カリキュラム・マネジメントの見直し	現在の幼稚園教育要領に沿った、カリキュラムの再編成を行い、充実した保育実践の実施、「子ども主体の保育」を実践していく。

6、教職員の自己評価集計



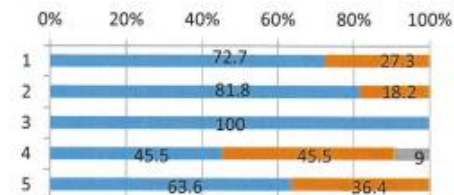
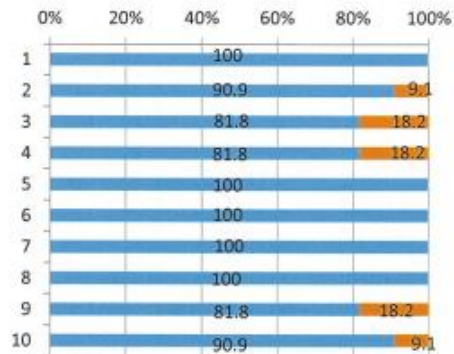
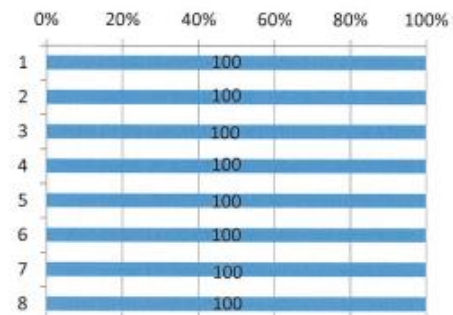
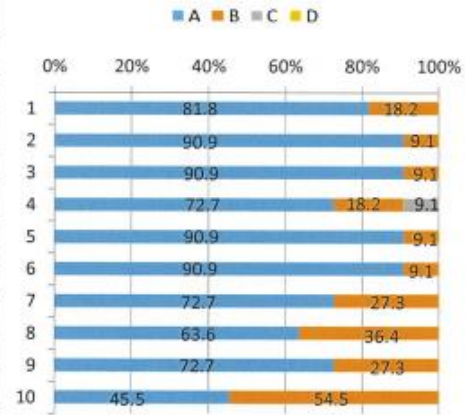
7、学校関係者の評価

令和3年度 教育や運営に対するアンケート集計結果

対象者…令和3年度 母の会役員の方々

A:十分達成されている B:ほぼ達成されている C:取り組まれているが成果が十分ではない D:取り組みが不十分である

評価項目	
【お子さまについて】	
1	幼稚園に行くのを楽しみにしていますか？
2	先生やお友だちが大好きですか？
3	安心して幼稚園で過ごしていると思われますか？
4	自分の思いを出して、元気に過ごしていますか？
5	自ら遊びを作りだす楽しさを味わい、幼稚園生活を楽しんでいますか？
6	遊びの楽しさや達成感を味わい、自信をもって行動するようになってきましたか？
7	遊びや集団生活に必要な決まりを知り、守ろうとする気持ちが育っていますか？
8	様々な物事に興味関心を示し、知的好奇心や思考力、感動する心などが育ってきていますか？
9	命を大切にしようとする心や自然を大切に思う気持ちが育っていますか？
10	家族や近所の方、教職員などに対しての気持ちの良い挨拶が身に付いていますか？
【教職員について】	
1	クラスの先生や預かり保育の先生、その他、教職員は園児一人ひとりを大切にしていると思われますか？
2	教職員の保護者への対応は、充分に出来ていますか？
3	保護者からの質問や相談には速やかに対応されていましたか？
4	教職員は、園児や保護者に気持ちの良い挨拶が出来ていますか？
5	教職員は明るくはつらつとしていますか？
6	教職員は気持ちの良い服装や身だしなみをしていると思いますか？
7	教職員は心を込めて仕事をしていると思われますか？
8	教職員は信頼できますか？
【幼稚園について】	
1	掃除や環境整備が行き届いていると思われますか？
2	子どもたちの安全な生活を守る取り組みが出来ていると思われますか？
3	保護者への連絡はきちんと行われていると思われますか？
4	幼稚園は保護者が園児と関わる機会を作り、幼児の発達などに気付く機会を作っていますか？
5	幼稚園は悩みや相談に親身になって対応していますか？
6	生命を尊重する心や自然を大切に思う気持ちが育つような取り組みがされていると思われますか？
7	幼稚園の教育方針や教育目標、指導の重点等について、保護者に分かりやすく伝えていますか？
8	教育方針や指導の重点は幼児や家庭・地域の実態にあったものだと思いますか？
9	教職員のスキルアップは出来ていると思いますか？
10	園外保育は充実していると思われますか？
【保護者について】	
1	保護者は園の教育方針や指導内容について理解出来ていますか？
2	幼稚園と保護者とは連携が取れていると思われますか？
3	幼稚園の教育方針や指導等に満足していますか？
4	保護者同士もよく挨拶をし、親しく交流できていますか？
5	保護者は幼稚園に対して関心が高く、協力的ですか？



8、財務状況

公認会計士監査により、適切に運営されていることが認められている。